

科目名		解剖学特論	
科目責任者		本田 岳夫 (第1解剖学 教授)	
開講時期:	1～2年次	単位数:	6 単位
		時間数:	90分× 45 回
● 科目の教育目標 一般目標 (GIO) 人体の精緻で巧妙な仕組みを肉眼解剖学、顕微解剖学、細胞・分子生物学などの手法を駆使して多角的に学習し、マクロ・ミクロレベルで人体の構造と機能の理解を深める。 行動目標 (SBOs) 1) 骨の基本構造と骨格の構成を概説できる。 2) 骨細胞、骨芽細胞、破骨細胞の微細構造と生理機能を概説できる。 3) 関節の基本構造と補助装置、および関節の種類を説明できる。 4) 骨格筋の分類と形態学的特徴を説明できる。 5) 骨格筋の神経支配、および神経・筋結合部の構造を概説できる。 6) 中枢神経系の正常構造と機能を説明できる。 7) 海馬の構造と機能を概説できる。 8) 末梢神経系の構成を概説できる。 9) CT、MRI といった医用画像に基づく人体構造の解析を概説できる。			
● 評価方法	検討会での討論(30%)・発表(30%)・レポート等(40%)で総合評価する。		
● 参考文献	講義の中で必要に応じ紹介する。		

授 業 項 目 (内 容)
骨の分類、形状、構造と機能
骨の構成細胞
骨のモデリングとリモデリング
骨代謝の制御
骨量と骨質
骨の画像解析
関節の基本構造と補助装置
関節の分類
骨格筋の構造と機能
骨格筋の画像解析
脳・脊髄の形態学的解析
ニューロンとシナプスの構造と機能
グリア細胞の構造と機能
脳と脊髄の血管系
海馬の形態学的解析